

一般会計予算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、3月8日に産業建設分科会を開催しました。

## 議案第33号 平成30年度総社市一般会計予算

### ～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、全員一致で**原案を可決**すべきであると取りまとめることに決定。

### ～質疑～

問：塵芥処理費のごみ収集経費について、約1億7千500万円が計上されているが、新築住宅地の造成等で、ごみ集積所が増えていると思う。委託料はごみ集積所が増えると、比例して必要となってくるのか。

答：委託料は年次的に少しずつ増加している。ごみ集積所の増加を考慮して金額を増やしているところである。

問：きびじつるの里施設管理委託料について、鶴は12羽で、予算は1千300万円とのことだ。以前に比べての経費削減の状況はどうか。また、削減だけだと、貧相になり、悪いサイクルになる。工夫が必要だがどうか。

答：臨時職員の中止、学びの家の常時開館の中止、軽自動車のリース料削減等を行った。鶴の様子をフェイスブックへ掲載するなど、サンロード吉備路とあわせてPRしている。施設の有料化など、少しでもお金を稼げるような仕組みを考えていきたい。

問：中央井手本線改良工事について、東に約200メートル進んでいくようにしているが、元町筋との交差点は、進捗状況はどうか。

答：中央井手本線は、段差解消事業を進めているが、元町井手線は地元調整が整っていないので、交差点周りもまだできていないというのが現状だ。先に東西線をやって元町井手線に入っていきたい。平成34年度くらいまでの計画である。

問：石原公園のSL機関車は、放置されていた。SL導入の経緯も含めて市民に周知する必要があるがどうか。

答：石原公園のSL塗装は、修繕料に810万円を計上している。看板等の新設も考えて、多くの人に見てもらえるように考えている。